

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
1	9/1	統計的検定	1. 仮説の統計学的検定法を説明できる。 2. 正規母集団の標準偏差が既知のとき、平均値に関する仮説の正しさを判定する方法を説明できる。 3. z 検定を行うことができる。	配布資料、パワーポイントにより解説する。問題演習を行なう。	松原郁哉	準3-(2)-15) 準3-(3)-2)
2	9/8	パラメトリック検定	1. 正規母集団の標準偏差が未知のとき、平均値に関する仮説の正しさを判定する方法を説明できる。 2. t 検定を行うことができる。	配布資料、パワーポイントにより解説する。パソコンにより演習を行なう。	松原郁哉	準3-(3)-2)
3	9/15	パラメトリック検定	1. データに対応がある場合について、平均値の差を検定できる。 2. データに対応がない場合について、平均値の差を検定できる。	//	松原郁哉	準3-(3)-2)
4	9/22	パラメトリック検定	1. 割合に関する仮説の正しさを判定する方法を説明することができる。 2. カイ2乗検定を行うことができる。	//	松原郁哉	準3-(3)-6)
5	9/29	パラメトリック検定	1. 3組以上のデータの差の検定方法を説明できる。 2. 1元配置の分散分析を行うことができる。	//	松原郁哉	準3-(3)-7)
6	10/6	パラメトリック検定	1. 2つの要因の差の検定方法を説明できる。 2. 2元配置の分散分析を行うことができる。	//	松原郁哉	準3-(3)-7)
7	10/13	ノンパラメトリック検定	1. パラメトリック検定とノンパラメトリック検定の違いを説明できる。 2. 対応のある2組のデータに差があるかどうか、符号検定を行うことができる。	配布資料、パワーポイントにより解説する。パソコンにより演習を行なう。	松原郁哉	準3-(3)-3)
8	10/20	ノンパラメトリック検定	対応のある2組のデータに差があるかどうか、Wilcoxon の符号付順位検定を行うことができる。	//	松原郁哉	準3-(3)-3)
9	10/27	ノンパラメトリック検定	対応のない2組のデータに差があるかどうか、Mann-Whitney の U 検定を行うことができる。	//	松原郁哉	準3-(3)-5)
10	11/10	ノンパラメトリック検定	要因が1つの場合、3組以上のデータに差があるかどうか、Kruskal-Wallis 検定を行うことができる。	//	松原郁哉	準3-(3)-8)
11	11/17	ノンパラメトリック検定	要因が2つの場合、3組以上のデータに差があるかどうか、Friedman 検定を行うことができる。	//	松原郁哉	準3-(3)-11)
12	11/24	ノンパラメトリック検定	2組のデータの順位づけが直線的に関連しているか調べる方法を説明でき、順位相関係数を求められる。	//	松原郁哉	準3-(3)-11)
13	12/1	まとめ	さまざまな検定方法の使い分け方を説明できる。	//	松原郁哉	準3-(3)
14	12/8	まとめ	色々なデータを適切に分析することができる。	//	松原郁哉	準3-(3)
15	12/15	まとめ	自分で課題を見つけ、統計的に分析することができる。	アンケート結果を配布し、その分析結果をレポートとして提出する。	松原郁哉	準3-(3)

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
16	(/)					
17	(/)					
18	(/)					
19	(/)					
20	(/)					
21	(/)					
22	(/)					
23	(/)					
24	(/)					
25	(/)					
26	(/)					
27	(/)					
28	(/)					
29	(/)					
30	(/)					